

横浜市立市民病院における内頸動脈損傷事故について

1 事故の概要等

市民病院において、平成 28 年 2 月 16 日（火）、50 歳代の女性患者さんに対して、未破裂脳動脈瘤の手術を行った際に、脳動脈を損傷しました。損傷部位の止血処置を行い、動脈瘤についてもクリッピング手術を行いました。3 月 1 日（火）の早朝にくも膜下出血を発症しました。

病院では、専門的見地から助言できる有識者を加えた調査委員会を設置し、原因の分析等を行いました。その結果、本件は手術中の脳動脈損傷に起因する医療事故であるとされました。

なお、患者さんは、現在も市民病院に入院中であり、容体は安定しているものの、意識レベルは、呼びかけに反応する程度となっています。

2 再発防止策

調査委員会において、次の 3 点の再発防止策を取りまとめていただきましたので、早急に対応してまいります。

- 医師の医療技術の維持向上のための研修受講、及び病院としての技術研修の実施
- 今回の事案を安全管理研修の事例として取り上げるとともに、病院内でのインシデント・オカレンス事例の早期報告の徹底等、病院全体の体制の再確認
- 手術ビデオについて、医療従事者のスキルアップや今後の事例検証のために脳神経外科領域の手術に関しては手術開始から終了まですべての撮影実施

患者さん及びご家族の皆様には深くお詫びを申し上げます。引き続き病院として全力で治療にあたりますとともに、ご家族の皆様にも誠意をもって対応してまいります。

また今後、再発防止を徹底し、市民の皆様への信頼回復に努めてまいります。